

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。

生涯学習振興課 >>>>>>>>

- 1 生涯学習の可能性を広げる取組の推進
- 2 地域ぐるみで子どもの成長に取り組む環境の整備
- 3 市民の文学活動の推進



■所在地：さいたま市浦和区常盤 6-4-4 ■電話：048-829-1704 ■FAX：048-829-1989
 ■交通：JR 浦和駅西口 徒歩 15 分

01 新しい時代を見据えた生涯学習の更なる推進 ~生涯学習の可能性を広げ、新しい価値を生み出す環境整備~

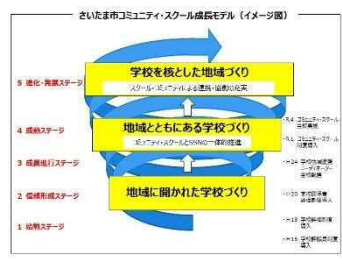


令和2年度に策定した「生涯学習ビジョン」の実現に向け、市が主催する様々な生涯学習の取組を市民の皆様知ってもらい、親しんでもらうため「生涯学習ガイドブック」を発行します。また、学びを通してつながる“まち”のネットワークについて、市民と共に考えるための「生涯学習フェスティバル」の実施、自らの知識や技能を教える意欲のある方を講師として紹介する「生涯学習人材バンク」制度の一層の充実を図ります。これらの取組を通じて、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」及び、目標4「質の高い教育をみんなに」に貢献していきます。

02 「地域とともにある学校づくり」の推進 ~学校運営協議会制度と地域学校協働活動の一体的な実施~



学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動（SSN）を一体的に実施し、地域全体で子どもたちの成長を支える「地域とともにある学校づくり」を推進します。また、子どもたちの自主的な学習やスポーツ、文化活動、地域住民、ボランティアの方々との交流活動等を行うチャレンジスクールの充実を図ります。こうした取組により、緩やかなネットワークを形成することで、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきます。



03 本市と縁の深い現代短歌を通じた市民の文学活動の推進 ~市民の文学活動の充実と日本現代短歌界の振興に向けて~



市民の文学活動の充実に向けた取組として、「さいたま短歌フォーラム」、「さいたま子ども短歌賞」、「現代短歌新人賞」の3つの事業をパッケージ化した「夢と言葉をつむぐ短歌 未来へのかけはし事業 ~Saitama "Tanka" Promotion Project(STPP)~」を展開しています。こうした取組を通じて、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」に貢献していきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。

人権教育推進室 >>>>>>>>>

- 1 意図的、計画的、継続的な学校人権教育の推進
- 2 公民館等での人権についての講座の支援等による社会人権教育の推進



■所在地：さいたま市浦和区常盤 6-4-4 ■電話：048-829-1708 ■FAX：048-829-1989
■交通：JR 浦和駅西口 徒歩 15 分

01 人権尊重を基盤とした教育の充実



教職員の人権感覚を磨き、人権意識を高揚させるとともに、専門の講師による講演会や研究指定校による研究発表会など、人権教育上の視点をもった指導方法を学ぶ教職員研修会を充実させることで、目標4「質の高い教育」に貢献していきます。

02 一人ひとりがお互いの人権を尊重する学校づくりへ



人権標語や人権作文の取組、人権の花運動、各種人権啓発資料の活用など、児童生徒に人権について考える機会をつくり、不平等や差別について発達の段階に即した人権課題解決の意識を醸成しています。こうした取組を通じて、目標10「人や国の不平等をなくそう」に貢献していきます。



03 社会教育における人権教育の推進



人権教育集会所で人権講演会や主催事業等を開催するとともに、公民館における人権講座等の開催も支援することで、市民の人権感覚を磨き、目標4「質の高い教育」、目標10「人や国の不平等をなくそう」に寄与していきます。





さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。

文化財保護課 > > > > > > >

- さいたま市内にある527件の指定文化財と15の登録文化財、1100を超える遺跡の保存・継承・活用
- 文化財を活用した催事や刊行物作成等の情報発信
- 文化財を伝える施設の整備



国指定 重要無形民俗文化財「岩楸の古式の土俵入」

■所在地：浦和区常盤 6-4-4 ■電話 048-829-1723 ■FAX：048-829-1989
 ■交通：JR 浦和駅西口 徒歩 15 分

01 貴重な文化財を体感しよう！

～ネットで、誌面で、実物で～



貴重な文化・歴史・教育・観光資源である文化財の調査、助成、記録を行うとともに、市民の方への普及活用に取り組んでいます。多様な文化に親しみを持ち、地域に愛着を感じてもらうため、実演、公開、展示などを行い、これらの取組を通じて、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」、目標11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきたいと考えています。



整備の進む国指定史跡「見沼通船堀」

02 真福寺貝塚・見沼通船堀・サクラソウ

未来を見据えた文化財整備

～歴史＋自然＋資源＋人～



Shinpukuji shell Mounds の名とともに、海外にも知られる「真福寺貝塚」(国指定史跡)では、史跡整備に向けて発掘調査で状況の把握を図るとともに史跡の公有地化を進めています。パナマ運河より古く開通した閘門式運河の「見沼通船堀」(国指定史跡)では、閘門実演を行うなどの活用を図りながら、史跡の価値を保つための再整備を進めています。指定から100年を超える国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」では、これからもサクラソウ自生地を伝えていくため、継続的な調査を行い、市民ボランティアと協働したガイドを行うなど保全と活用に努めています。このように、自然と調和した持続可能な整備と保存活用を通じてSDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」、目標12「つくる責任つかう責任」、目標15「陸の豊かさを守ろう」に貢献していきたいと考えています。



真福寺貝塚から新たに出土したミミスク土偶の頭部

